



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
 コード番号 2573 URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部担当 (氏名) 前田 則彦

TEL 011-888-2051

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	43,112	△1.2	679	△55.5	776	△50.8	462	△67.6
23年12月期第3四半期	43,652	△9.2	1,525	17.2	1,579	18.4	1,428	7.8

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 463百万円 (△67.5%) 23年12月期第3四半期 1,427百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	12.67	—
23年12月期第3四半期	39.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	46,943	37,693	80.3
23年12月期	47,707	37,668	79.0

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 37,693百万円 23年12月期 37,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年12月期	—	6.00	—		
24年12月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,480	△1.0	500	△65.5	590	△60.8	710	△73.2	19.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日付で平成24年12月期通期の連結業績予想を修正し、「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	38,034,493 株	23年12月期	38,034,493 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	1,499,836 株	23年12月期	1,498,118 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	36,535,947 株	23年12月期3Q	36,536,845 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年9月30日）におけるわが国経済は、設備投資や雇用情勢に弱いながらも改善の動きが見られるものの、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みが見られ、景気動向指数が4ヵ月連続で低下するなど、厳しい経済環境が続きました。

清涼飲料業界では、8月後半から天候の後押しもあり、清涼飲料の需要が高まったものの、原材料価格の高騰による企業収益への影響も大きく、厳しい状況にありました。また、北海道においては観光産業が概ね震災前の水準に回復したことに加え、夏季の電力需給についても、節電の定着により計画停電を回避できたことにより、経済への影響は最小限にとどめられたものの、今後、冬季の電力需給についても逼迫することが予想され、予断を許さない状況となっています。

このような状況のなかで、当社グループは、生活者ニーズの変化に対応し、様々な飲用シーンにおいて最適な容量及びパッケージの飲料を最適な販売方法で提供することで、セールスの拡大をはかりました。その施策として、多様な形状の製品を生産することができる無菌充填生産設備を3月に新設し、少人数の世帯が多い北海道の生活者のライフスタイルに適合した、飲みきりサイズで持ち運びにも便利な容量1.25リットルの新型ペットボトル「スマートボトル」を北海道限定で発売しました。この商品は、北海道限定商品として初めてテレビコマースの放映を行うとともに、北海道全域で一斉に売り場を展開することで、認知度の向上をはかりました。また、自動販売機事業においては、売り上げの見込めるオフィス及び屋内ロケーションへの新規設置強化を継続して行いました。さらに、量販店ごとの客層や購買傾向の分析を行い、それぞれの特性に応じた販売施策を実施することで、シェアの拡大をはかりました。その他、新しい販路の開拓に向けて、狭小マーケット向けの販売機材や納品方法の検討及びテスト展開を継続するとともに、シニア層や主婦層を中心に、清涼飲料をより早く、簡単にお買い求めいただけるよう、インターネットを利用した宅配サービス「グッと楽便（らくびん）」を開始するなど、清涼飲料需要の発掘をはかりました。

また、3月に新設した生産設備において、薬剤を使わないEB（エレクトロン・ビーム）殺菌設備や環境に配慮した新技術を導入し、従来の設備と比較して省エネルギー、節水、省資源を実現しました。さらに、夏季の節電対策として、以前より継続して取り組んでいる自動販売機のピークカット運転に加え、冷却運転の輪番停止、工場操業時間のピークシフトなどを実施し、ピーク時間帯における消費電力の削減につとめました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、431億1千2百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は6億7千9百万円（前年同期比55.5%減）、経常利益は7億7千6百万円（前年同期比50.8%減）、四半期純利益は4億6千2百万円（前年同期比67.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて7億6千4百万円減少し、469億4千3百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、有形固定資産が増加したものの、現金及び預金が増減したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比べて7億8千8百万円減少し、92億5千万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加したものの、解体撤去引当金、設備関係未払金が増減したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べて2千4百万円増加し、376億9千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、平成24年2月9日に公表いたしました数値から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(「販売機器」、「工具、器具及び備品」を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ90百万円増加しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,194	6,702
受取手形及び売掛金	4,422	5,516
商品及び製品	3,862	4,028
原材料及び貯蔵品	155	357
繰延税金資産	22	75
その他	2,137	1,697
貸倒引当金	△12	△18
流動資産合計	20,781	18,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,295	7,366
機械装置及び運搬具（純額）	2,312	5,584
販売機器（純額）	4,226	4,482
土地	6,091	6,068
建設仮勘定	1,137	241
その他（純額）	773	810
有形固定資産合計	21,836	24,553
無形固定資産		
ソフトウェア	704	575
その他	22	22
無形固定資産合計	727	597
投資その他の資産		
投資有価証券	417	420
長期貸付金	359	358
前払年金費用	2,794	2,284
その他	833	408
貸倒引当金	△41	△38
投資その他の資産合計	4,362	3,433
固定資産合計	26,926	28,584
資産合計	47,707	46,943

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,394	3,303
未払金	1,666	1,666
未払法人税等	202	329
賞与引当金	—	360
解体撤去引当金	273	—
環境対策引当金	3	—
設備関係未払金	1,064	156
その他	1,719	1,919
流動負債合計	8,325	7,735
固定負債		
繰延税金負債	1,063	847
資産除去債務	103	101
退職給付引当金	91	68
その他	455	498
固定負債合計	1,713	1,514
負債合計	10,039	9,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	30,698	30,722
自己株式	△899	△900
株主資本合計	37,658	37,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	11
その他の包括利益累計額合計	10	11
純資産合計	37,668	37,693
負債純資産合計	47,707	46,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	43,652	43,112
売上原価	27,775	27,916
売上総利益	15,877	15,195
販売費及び一般管理費	14,352	14,516
営業利益	1,525	679
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	4	4
その他	99	140
営業外収益合計	116	155
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産除却損	24	18
寄付金	22	11
解体撤去費用	—	12
その他	13	14
営業外費用合計	61	58
経常利益	1,579	776
特別利益		
固定資産売却益	0	1
退職給付制度改定益	56	—
その他	10	—
特別利益合計	67	1
特別損失		
固定資産除売却損	117	75
減損損失	4	20
災害による損失	15	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	74	—
その他	3	1
特別損失合計	215	97
税金等調整前四半期純利益	1,431	680
法人税、住民税及び事業税	189	488
法人税等調整額	△186	△270
法人税等合計	2	217
少数株主損益調整前四半期純利益	1,428	462
四半期純利益	1,428	462

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,428	462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
その他の包括利益合計	△0	1
四半期包括利益	1,427	463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,427	463
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループの事業は、北海道を主な販売地域とする清涼飲料の製造・販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。